

IGF 2020報告会
2021年3月30日

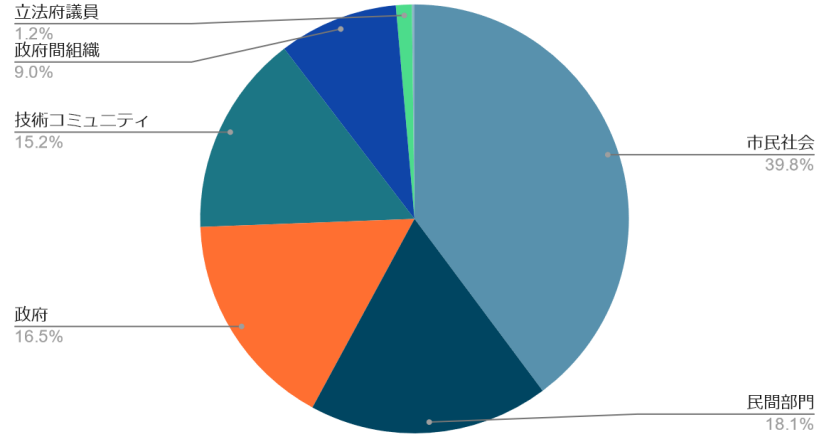
IGF 2020全体概要

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
山崎 信

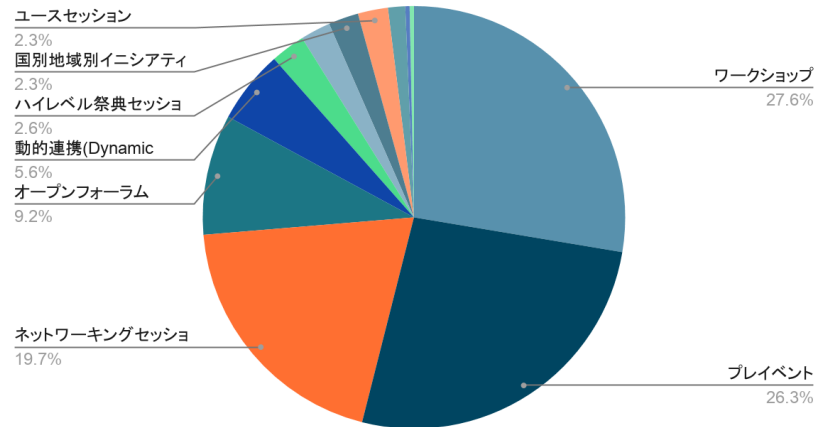
数字で見る概要

- 参加者数： 6,136名
(173ヶ国・地域より)
- セッション数：295

参加者ステークホルダー別内訳



セッション内訳



IGF 2020の特徴(1/2)

- 完全オンライン：タイムゾーンは欧州を基本として拡張
 - 6時～20時UTC = 15時～翌朝5時JST
- 自発的目標(voluntary commitment)の設定
- 各プログラムに関連するSDG項目記載

IGF 2020の特徴(2/2)

- ユースサミット（11月5日開催）

- テーマ1：人々をデジタル的につなぐために橋を架ける(依存、デジタルデバイド、普遍的な接続性、成功例)
- テーマ2：正式な教育の再考：次のデジタル世代のための4.0ビジョン(各国事例の評価、学校のカリキュラム改革、オープンな教育資源(OER)および大規模公開オンライン講座(MOOCs)などを通じた教育、学生サービスにおける新技術)
- テーマ3：次世代指導者および専門家のためのインターネットガバナンスに関する能力開発(若者参加の重要性、デジタル協力のためのユース活動、将来の見通し)

議員セッション

- 列国議会同盟(Inter-Parliamentary Union, IPU)と国連経済社会局(ECOSOC)との共催で開催
- モデレーターはIPUのWilliamson氏、開会あいさつは国連事務次長(経済社会担当) Liu Zhenmin(劉振民)氏およびIPU事務総長Martin Chungong氏
- パネリスト出身国：ドイツ、エルサルバドル、ロシア、ナイジェリア、イタリア、ポーランド、欧州議会、ニカラグア、バングラデシュ
- 議論内容：COVID-19の影響、人権、議員と人々をつなぐより良い方法、サイバー犯罪、デジタル化、遠隔勤務、遠隔教育、議員間の地域的協力、政府と民間の間の信頼、医療システム、アクセス、デジタルデバイドなど

メインセッション

データ

- パンデミックと戦うためにデータ利用が求められている状況において、プライバシーや他の人権を確保することに関連した課題について議論
- パネリストからの主な意見
 - 社会的な振る舞いや動きが分かり、それを利用して人々に影響を与えることに使えてしまうので、個人よりも、社会的なプライバシーが守られないことがより大きな脅威
 - 情報処理に関する法的・倫理的な枠組みを確立することは、透明性と説明責任を確立し、データ駆動型のテクノロジーが既存の不平等を深化させないようにするために不可欠
 - データ駆動型技術のメリットは、政府や民間企業だけでなく、地域社会や個人も含めて、誰もが利用できるものでなければならず、そのためには、データ駆動型技術を最大限に活用するためのデジタル機器や接続性、デジタルリテラシーのスキルが必要

環境

- 気候変動の影響を計測、理解、そして気候変動への対処を通じてどのように技術が使われ発展するかを探るためのセッション
- パネリストの出身母体：政府、環境関連企業、電子商取引/クラウドプラットフォーム企業、通信事業者、国連機関、インターネット技術コミュニティ
- 主な意見
 - 気候変動の解決にはデジタル技術が重要となる、環境に関するデジタル協力が中心的トピック
 - 環境データと分析の分散ネットワークの構築が必要
 - さまざまなステークホルダーからの参加が必要で、IGFはそのためには適切なフォーラムである

包摂

- 「デジタル協力に関するロードマップ」記載の目標：グローバルな接続性
 - 世界の人口の半分はインターネットアクセスがないが、2030年までに、すべての人が安全で手ごろなインターネットアクセスができるようになるべき
- 本セッションでは何がデジタル包摂となるのか、意味のある接続性とは何かについて議論された
 - インターネットへの接続は贅沢ではなく必須サービス
 - 途上国では、非従来型コミュニティネットワークの実現のため規制改革が必要
 - 電気通信インフラセクターは電力セクターと協力すべき
 - 事業者間での共有、および非営利目的接続のために周波数帯の一定割合を割り当てることを提唱
 - 技術者の能力開発が重要

信頼

- 歴史的、地理的、政治的、技術的、経済的な観点から、以下の三つの質問を軸に議論が進められた：
 - デジタル主権：デジタル生活における信頼
 - インターネットの分断：ネットワークのネットワークにおける信頼
 - コンテンツモデレーション：偽情報(disinformation)および分断(fragmentation)：情報における信頼
- 本セッションのパネリストのうち2名が日本人(ITU奥田敦子氏、慶應義塾大学村井純氏)
 - 奥田氏：データ主権は重要な課題であり、規範と原則に関する作業部会を設立するのは重要
 - 2019年に中国の通信事業者からITUの研究グループに提案されたNew IPに関する議論について紹介
 - 村井氏：政府間の国際的な関係についても、変化していくべきで、明確に議論し、知恵の交換が必要
 - 政府がインターネット空間に対する懸念（安全保障と経済）を持つ

デジタル協力

- **国連事務総長によるデジタル協力へのロードマップとオプションペーパーを受けて開催されたセッション**
 - 第1部：議長である国連事務次長(国連75周年記念準備担当)Fabrizio Hochschild氏からグローバルなデジタル協力について解説
 - 第2部：政府高官などによる議論：アラブ首長国連邦およびシエラレオネ政府、ISOC、欧州電気通信事業者協会(ETNO)、Facebook社などからのパネリストが参加
 - 第3部：参加者との対話：スイス政府、ドイツ政府、インターネットガバナンスに関する汎欧州対話(EuroDIG)、ファーウェイ社、現MAG議長、前MAG議長などが参加

NRI 関連セッション

NRIメインセッション

- 「緊急時におけるインターネットの役割」と銘打って、11月13日(日本時間14日)に開催
- Marilyn Cade氏追悼のため黙祷
- セッション内訳
 - a. 世界の回復力のためのインターネット：COVID-19禍のような緊急事態下における、コミュニティ回復力へのインターネットの寄与、および緊急事態下で阻害されたデジタル政策課題(フランス、コロンビア、アラブ、ブラジル、パナマ)
 - b. 人々を助ける技術：緊急事態に対する、データを基にした技術および新興技術を使った成功事例を考察(イタリア、ドミニカ共和国、アジア太平洋、米国、アルゼンチン、韓国)
 - c. 誰も取り残さない：緊急事態におけるオンラインツールとサービスの配備(西アフリカ、ボリビア、スペイン、レバノン、モーリシャス)
 - d. デジタルへ向かう経済：経済を支援するためのインターネットサービスの有利な点(英国、アフリカ、エクアドル、欧州(EuroDIG))

NRI協働(Collaborative)セッション

- **さまざまな側面からの各国の事情が紹介**
- **次の内容の7セッションが開催**
 - a. アクセスとデジタル包摂
 - b. サイバーセキュリティに関する各地域の政策・標準
 - c. 持続可能性のためのデータ利用
 - d. デジタル経済：デジタル主権に関する地域をまたいだ規制および影響
 - e. 民主主義に関するデジタルの権利と影響
 - f. デジタル時代における職 / 仕事の未来
 - g. コンテンツ規制の技術的側面

ハイレベルまとめセッション

導入～円卓会議第1部

- **国連事務総長Antonio Guterres氏の基調演説**
 - デジタルデバイドを埋めるため全てのステークホルダーに協力求める
 - データガバナンスにおける包摂
- **円卓会議第1部：インターネットの現状と次に来るものは何か**
 - パネリスト：ポーランド政府、コスタリカ政府、エチオピア政府、ロシア政府、日本政府（武田総務大臣）より大臣級、国連事務次長(アフリカ経済委員会担当)Vera Songwe氏、およびIGF MAG議長Anriette Esterhuysen氏
 - 主な議論内容：より幅広い層への働きかけ、経済復興、国家戦略としてのIGF招致、DFFT、アフリカでの実情、IGFが人々の多様性、能力、言語、視点を包括する必要性、インターネットに縁があまりない組織も包摂する必要性

円卓会議第2部

- テーマ：次の10年でどのようにデジタルの世界でより効果的に協力できるか
- パネリスト：
 - 前エストニア大統領Toomas Hendrik Ilves氏、Google社のVint Cerf氏、ICANN事務総長のGöran Marby氏、GSMA事務局長Mats Granryd氏、ケニアの青年代表Vallarie Yiege氏、国連事務次長担当(国連75周年記念準備担当)Fabrizio Hochschild氏、スイス連邦大統領Simonetta Sommaruga氏
- **主な発言内容**
 - インターネットガバナンスについて、より強力なリーダーシップ、より安定した資金、およびより強力な能力が必要であること
 - オンラインでの人権、特にデータの整合性とプライバシーを保証することが重要
 - 青年が何を貢献できるのかという点で、若者を見ていく必要あり
 - インターネットのオープン性を維持することが最大の課題